

(様式第 7 号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：平成 30 年 6 月 11 日

作成者：阿部 美奈子

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋市 P T A 協議会	
事業名	日時 (期間), 場所
P T C A 活動支援事業, 地区別研究大会 芦 P 協人権学習委員会 & 家庭教育セミナー	平成 29 年 11 月 6 日 (月) 芦屋市民センター ルナ・ホール
内容 (実績) ＊実施したことを具体的に	受益者数
講師 佐伯 和也 氏 テーマ 子どもが自分から勉強を始める 遊びの解放 子どもを思うその気持ちは愛情あふれるものでありながら、子どもとのコミュニケーションの取り方が、子どもが勉強しなくなる関わり方になっている親は数多くいます。子どもの目線に立ったコミュニケーションの取り方を身に着けることで、子どもが自分から勉強を始めようになるという、子どもの自立についてアドラー心理学をベースにコーチングされている佐伯氏に講演いただきました。	(178) 人 参加者数 (178) 人
成果 (社会へのインパクト) ＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
保護者、子育て応援団、愛護、民生委員の方々にも参加いただき、たいへん好評でした。遊びを制限したり勉強を強制すると、遊びも勉強もしない無気力な子になっていく。子どもの気持ちを信じ認めてあげることで自律学習ができる子になるという興味深いお話に共感したという意見が多数ありました。 当日はケーブルテレビの撮影も入り、講演会の様子が後日放送されました。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
学校、家庭、地域が連携することで教育環境を充実させ、子どもたちの健やかな成長を見守り育むことを考える絶好の機会となりました。これからも子どもたちや親のためになるセミナーをしていきたいです。	